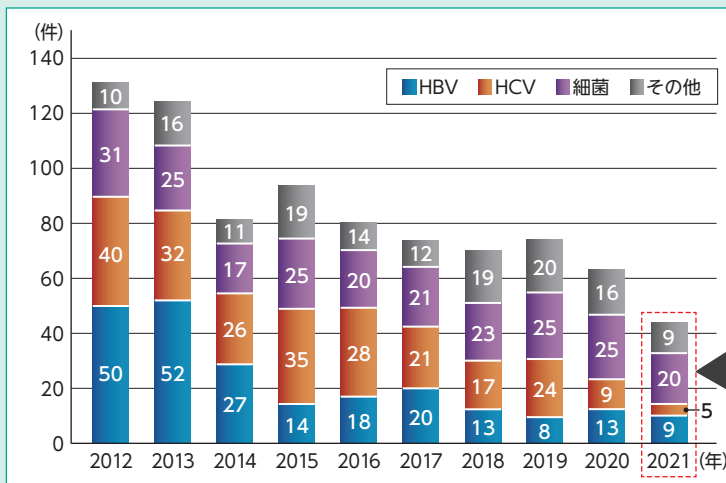


輸血用血液製剤との関連性が高いと考えられた感染症症例 -2021年-

輸血によるウイルス等の感染が疑われ、2021年に医療機関から赤十字血液センターに報告された症例(自発報告)及び献血後情報に基づく遡及調査を行った症例の中で、献血血液の検体等にウイルス核酸が検出され、輸血による感染と特定された症例は、HBV2件でした。

輸血による感染の疑いとして赤十字血液センターに報告された症例数の推移と2021年に報告された病原体別の症例数とその解析結果



病原体	報告件数	特定
HBV	9	2
HCV	5	0
細菌	20	0
CMV	5	0
HEV	4	0
計	43	2

症例概要 (献血血液の検体等に病原体等が検出され、 輸血による感染と特定された症例) -2021年-

HBV

●自発報告:輸血によるウイルス感染の疑いとして医療機関から報告された症例

症例 No.	原疾患	輸血用血液製剤 (採血年月)	年齢	性別	輸血前		輸血後		ALT		患者 転帰
					検査項目	検査結果	陽転項目	輸血からの期間	最高値 (IU/L)	輸血からの期間	
1	急性大動脈解離	FFP-LR (2019.12)*	60代	男	HBV DNA HBs抗原 HBs抗体 HBc抗体	陰性	HBV DNA	11週	1255	18週	軽快
							HBs抗原 HBc抗体	18週			

* 当該献血はHBV NAT陰性、12週間後献血時にHBV NAT陽性 なお、当時の「血液製剤等に係る遡及調査ガイドライン」の遡及調査期間外のため遡及調査は未実施

●献血後情報:献血血液のスクリーニング検査の陽転化情報に基づく遡及調査により判明した事例

症例 No.	原疾患	輸血用血液製剤 (採血年月)	年齢	性別	輸血前		輸血後		ALT		患者 転帰
					検査項目	検査結果	陽転項目	輸血からの期間	最高値 (IU/L)	輸血からの期間	
1	急性骨髄性白血病	lr-PC-LR (2021.7)*	60代	男	HBs抗原 HBs抗体 HBc抗体	陰性	HBs抗原	21週	◆	◆	未回復

* 当該献血はHBV NAT陰性、4週間後献血時にHBV NAT陽性 ◆比較データなし

個別NAT導入後の輸血後HBV感染事例について

日本赤十字社では、2014年8月から個別NATを導入しています。個別NAT導入後の輸血用血液製剤によるHBV感染は7件確認されています。

輸血に使用された製剤は個別NATでHBV陰性でしたが、献血者の次回以降の献血においてHBVの陽転を認め、受血者から検出されたHBVとのウイルス塩基配列の相同性が確認されています。

確認されたHBVのGenotypeはA2が5件、B2及びC2が各1件でした。

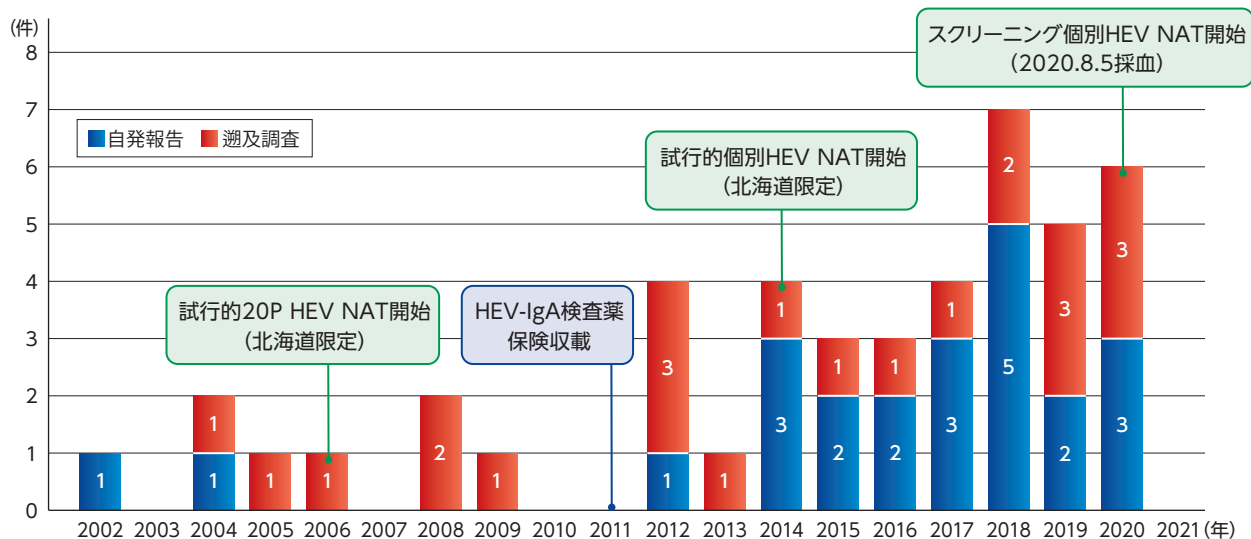
No. (報告年)	1 (2016年)	2 (2017年)	3 (2018年)	4 (2020年)	5 (2020年)	6 (2021年)	7 (2021年)
原因製剤	血小板製剤	血小板製剤	血小板製剤	血小板製剤	血小板製剤	血漿製剤	血小板製剤
HBV陽転までの 献血間隔	31日	20日	14日	23日	29日	84日	28日
HBV Genotype	A2	C2	A2	A2	A2	A2	B2

輸血後HEV感染の推移について

輸血後HEV感染は2002年に初めて確認されて以降、2020年までに45件の感染が確認されました。

日本赤十字社では、2020年8月5日採血分から全ての献血血液に対してHEV NATを開始しました。

2022年6月現在、HEV NAT導入後の輸血用血液製剤による感染は確認されていません。



HEV NAT以外にも以下の安全対策を実施しています。

- ▶ 献血会場において、HEVの感染源と受血者への感染リスクを周知するとともに、献血者への問診を徹底しています。
- ▶ HEVに感染するリスクのあるブタ、イノシシ、シカの肉や内臓を生又は生焼けで食した方については、摂取した時点から6か月間は献血をご遠慮いただいております。

輸血用血液製剤の使用による副作用・感染症が疑われた場合は、直ちに赤十字血液センター医薬情報担当者までご連絡ください。また、原因究明のために、使用された製剤及び患者の検体等の提供をお願いすることがあります。なお、使用された製剤及び患者の検体は「血液製剤等に係る遡及調査ガイドライン」を参照のうえ保存してください。

輸血情報 2208-176

〈発行元〉

日本赤十字社 血液事業本部 技術部 学術情報課
〒105-0011 東京都港区芝公園1丁目2番1号
※お問い合わせは、最寄りの赤十字血液センター
医薬情報担当者へお願いします。



日本赤十字社 医薬品情報ウェブサイト

製品情報・輸血情報等についてはこちら

日本赤十字社 医薬品情報

スマートフォン・タブレットにも
対応しています。

